

満天の星、一粒の涙

【第十話】ロングバケーション

作家で恋愛カウンセラーの安藤房子さんによる、誠心だけで恋愛上手になれる恋愛カウンセリング小説の第十話。
今回の主役は大企業社長の秘書 兼 愛人の未希子。2年前にヘッドハンティングされて今のポジションをつかんだ未希子だが、実はひとつの夢をあきらめかけていた……。

ブーッ……ブーッ……ブーッ……

デスクで書類整理をしていた未希子の携帯のバイブ音が鳴る。ドキリとしながら化粧室に向かい、スカートのポケットから携帯を取り出した。まさかあの男だわ……

受信メールを確認しなくても検討はつく。だって毎日、夕方になると、彼からのメールが届くからだ。受信メールを見ると、やはり高原からの命令口調のメールだった。
△今夜も未希子の部屋に行くから▽
見るだけのために息をつきたくなる。今まで彼から、

△今夜も未希子の部屋に行つていい▽
という相談口調のメールをもらったことがあったのだろうか。彼は、まるで自分の所有物のように接してくるのだった。デートする場所も、レストランで食べるメニューも、着る服さえ指定してくる彼。そんなつきあいにうんざりしはじめて1年たつたのだけれど、なかなか別れられずにいる。

なぜなら、彼は、彼女の勤める会社の社長。そして彼女は秘書兼愛人なのだ。一人暮らしには十分すぎるほどの都心のマンションの賃貸料だって、会社の資金でまかなってもらっている。きっかけは2年前のことだった。小さな貿易会社の秘書をしていた彼女のもとに、女性ヘッドハンターから一本の電話がきたのだ。「もっと大きな企業で社長秘書をしてみませんか？」

着たのは、残しておいたのだ。
△今夜は、残しておいたのだ。
未希子は2年ぶりにそのワンピースに手を通し、鏡の前に立つてみた。すると……まったく似合わない。今となっては地味なタイプの未希子の顔が、完全に洋服から負けてしまうのだ。そんな自分がよくわかりながらも、部屋中の自分のジュエリーや小物、化粧品を確認して、さらにながかりした。どれも高級品。だけど、自分の趣味のものだったとたつたひとつもない。未希子は、自分はまだ高原に依存していたのかと、ため息をつきながらも、いい方向に考え直した。

趣味のものがないということは、この部屋からなにひとつ持ち出す必要などないということ。高原と別れたら、着の身着のまま親友のところへ行けばいいのだ。そう思いながら、つい先日高原からプレゼントされたグレーのワンピースに着替えると、タクシーで待ち合わせ場所へ向かう。タクシーの中で、未希子は心に決めていた。待ち合わせ場所に行き、高原がやってきたら、冷たいカフェオレを頭からぶっかけてやるのだ。そして、

「私の2年間を返してよ」
と憤り、その場から立ち去っていくのだと……。そんなやれ方をしたら、プライドの高い高原が自分を追ってくるはずがないことは目に見えていた。
ところが……。

電話の向こうの魅力的な誘い文句と上品な語り口に、未希子はいよいよアポイントを思っ。将来は秘書を派遣する会社を設立したいと思った未希子にとって、決して悪い話ではなかったのだ。
高原を含めて3人での会食。食事が終わり、ヘッドハンターが、

「次の仕事がありますので、私はこれで……」と席をたった後は、ホテルのバーに移動。二人でバーボンを飲みながら、彼の仕事への熱い思いを聞いているうちに、

「ぜひ御社で働かせてください」
と話していた。そしてそのままホテルの部屋へと話していた。たつた数時間で高原に恋をしたのだ。
ところが、勤め始めてすぐに、商車が狂いはじめた。お給料は1.5倍になったものの、秘書というの名前だけ。彼女の業務は、高原の不正をみ消す仕事だったのだ。

それでも、最初の頃は、高原のためと自分言い聞かせてやっていた。だけど……次第に彼女は、無気力になっていった。かつては社交的だったのに、経営セミナーや異業種交流会すらまったく顔を出さなくなった。起業の夢もあきらめ、高原に与えられたグレイやクリーム色など淡い色のスーツばかり着るようになっていった。自分を殺して高原と過ごす時間は、長く苦しく、太陽も海もブルーもない夏休みのような時間……。そう思いながらも今の生活から抜け出せ

「どこに行つてんだよ。」
その口調があまりにやさしいので、未希子は拍子抜けして、
「デート用の服に着替えに帰っていたの」
と、にこり笑ってしまった。すると高原は、
「今日さ、新しいクライアントと契約できたんだよ」
と、ホッとした表情なんて見せるものだから、何も言い出せなくなる。結局、フレンチレストランに移動してからも、仲良かった頃の記憶がよみがえってしまい、別れを切り出せない。もう好きではないことくらい、自分でもわかっているのに、だ。

待ち合わせのカフェに約束の時刻の10分前に到着したのに、今日に限って高原が先に来ている。しかも、めずらしく穏やかな笑顔でこう尋ねてきた。
「早くお前も浴びてこいよ」
とうながされるまま、シャワーを浴びに行く。シャワー室から出てくると、待ちきれないというふう押し倒してくる。彼女の体はまったく反応しない。だけど、反応しているふりをくりかえす……。
△私のロングバケーションは、一体いつになったら終わるのかしら……▽
彼女は、うなだれた心をもてあましたまま、彼の身体の下で敗北感を覚えるだけなのだ。

ないのは、お金に満ちた生活を手放すのが怖くなってしまったからだ。だから、高原に求められてその気にならなくても、抱かれ続けているのだ。
だけど……もう限界だった。彼女は、今日こそ自分の意志を伝えようと、左手で携帯メールを打ち始めた。

△ごめんささい。今夜はちょっと考え事をしたいの。ひとりでしたらいいです。▽
しかし、その後の高原からのメール攻撃がすごかった。なぜなら、お前は俺のものだ、言うことを聞かないならどうなるかわかっているんだろかな……そんな内容のメールが何度も送られてきた。

未希子は、高原のそのメールで決意をした。△今夜は、高原と会って別れを切り出そう▽
そして、二人がつきあいはじめた頃によく訪れた思い出のカフェで待ち合わせ、思い出のフレンチレストランでデートをしたいと返事を出してみた。

高原は、了承してくれた。どうやら、思い出のお店で会いたいという未希子のメールが、お気に召した様子だった。
夕方5時に仕事を終えた未希子は、急ぎ足でマンションに向かった。自分の大切なものだけを持ち出し、高原に別れを告げ、池袋に住む親友のマンションに転がり込もうと思っていたのだ。

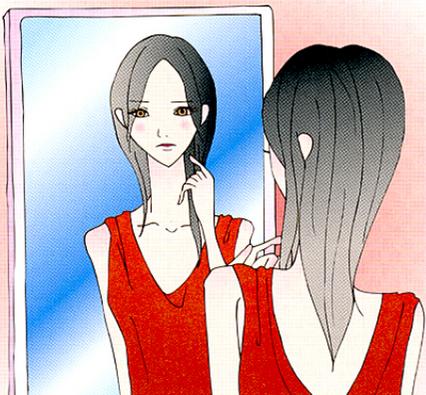
※1 好きではない相手なのに1年間もするつもりがあったことは、時間の無駄以外の何ものでもありません。自分の人生は自分でしか切り開けません。もう少し早く別れを切り出すべきでした。
※2 同じ会社の人間に恋をして悪いわけはありませんが、彼女の人は恋はまずして悪いわけはありません。彼の仕事ぶりを見てからでも遅くはないです。お金の関係はありますが、お金の関係から冷めるのも早いのです。気をつけましょう。
※3 好きではない相手とのセックスは、精神衛生上よくありません。生活すべてに対する意欲がなくなってしまう、しあわせが遠のいてしまいます。
※4 相手からのプレゼントを身につけたいという気持ちが、別れ話を切り出しにくいもの。また、色彩心理学的に見るとグレイは自分の意見を言えないでしまおうという部分があります。逆に、赤い色は、行動力を発揮したいときにうってつけの色なのです。
※5 別れ話の場所として「思い出の場所」を指定したのは失敗でした。思い出の場所に行く、当時の記憶がよみがえってきて、相手に対する情がわいてきてしまふのです。このような心理を「脱離止」と言います。彼女は「脱離止」の状態に陥り、別れ話を切り出せなかったようです。

△今回の恋愛アドバイス△

- ※1 好きではない相手なのに1年間もするつもりがあったことは、時間の無駄以外の何ものでもありません。自分の人生は自分でしか切り開けません。もう少し早く別れを切り出すべきでした。
- ※2 同じ会社の人間に恋をして悪いわけはありませんが、彼女の人は恋はまずして悪いわけはありません。彼の仕事ぶりを見てからでも遅くはないです。お金の関係はありますが、お金の関係から冷めるのも早いのです。気をつけましょう。
- ※3 好きではない相手とのセックスは、精神衛生上よくありません。生活すべてに対する意欲がなくなってしまう、しあわせが遠のいてしまいます。
- ※4 相手からのプレゼントを身につけたいという気持ちが、別れ話を切り出しにくいもの。また、色彩心理学的に見るとグレイは自分の意見を言えないでしまおうという部分があります。逆に、赤い色は、行動力を発揮したいときにうってつけの色なのです。
- ※5 別れ話の場所として「思い出の場所」を指定したのは失敗でした。思い出の場所に行く、当時の記憶がよみがえってきて、相手に対する情がわいてきてしまふのです。このような心理を「脱離止」と言います。彼女は「脱離止」の状態に陥り、別れ話を切り出せなかったようです。

△今回のまとめ△

未希子は少々、優柔不断です。このまま一生、好きでもない人と別れずにいることは、まったくメリットがありません。たとえどんなに経済的に恵まれて相手であっても、どこかでキツキツと別れを告げること、新たなスタートを切るのもです。未希子が、
「お金のためのセックスくらい気だわ」と割り切れるタイプな話とは別な話です……。スルズルと体の関係が続いている相手がいるうちは、本気で愛せる相手はなかなか見つかりません。会ったときセックスをしてしまおうから行方、携帯メールで別れを告げ、相手の前から行方をくらますことも、ひとつの方法ではないでしょうか。



安藤 房子

作家・恋愛カウンセラー、恋愛サイト「HeartJunction」http://www.heart-junction.com主宰、講演、テレビ、ラジオ、雑誌でも幅広く活動中。著書は「しあわせな関係」(オデッセウス出版)など。

HEARTをケア。

恋愛、結婚、仕事のトラブル…。ひとりで悩んでいるとめげちゃうことってありますよね？ そんなときはメール・カウンセリングを。 - Heart Junction -



♡♡♡ - Heart Junction -

※メール・カウンセリング 1回2000円。
※じっくり相談できる3回コース5000円もあります。
※電話でのカウンセリングも行なっています。
※くわしくはメールまたは電話でお問い合わせください。
http://www.heart-junction.com TEL. 045-974-2580

ボディにCURE!



顔、ボディ、スタイル…。女のこならだれだって、もっと自分に自信をもちたい！ からだ本来のキレイと元気をひきだしてあなたの恋を応援します。

CURE+ キュア整体ルーム

※料金=初回6000円/2回目以降4500円
※体質と目的に応じたオーダーメイドの施術です。
※冷え性・むくみなど体質改善もおまかせください。
http://www.cure-seitai.com
TEL. 03-5485-0211
受付時間10:00~20:00/日曜定休

